



春号

発行・編集：福祉のネットワーク永山

事務局：(社福) 多摩市社会福祉協議会

TEL：042-373-5616

第28号：平成30年4月

福祉のネットワーク永山だより

～誰もが安心して暮らせる地域を目指して～

障がい者に対して合理的配慮を！

「障害者差別解消法」が平成28年4月に施行されていますが、あまり知られていないようです。

「福祉のネットワーク永山」は昨年11月の定例会に多摩市自立支援協議会 権利擁護専門部会から藤吉さおりさんをお招きし、「障がい者にどう接するか」というテーマでお話してもらいました。

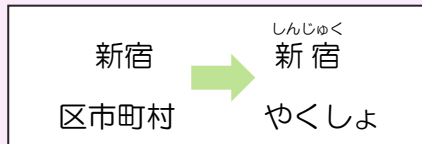
藤吉さんは「合理的な配慮が必要です」と強調しました。多摩市では、どのような合理的配慮が必要か、具体的に説明した「こころつなぐ・はんどぶっく」を昨年6月に発行しています。



【合理的配慮の例】



筆談：耳が聞こえない人のために文字を書いて伝える



多くの方が理解できるようにふりがなをつけたり、分かりやすい言葉に変える



代筆：自分で書き込むことが難しい人の代わりに書く



グループワークの様子

お互いのことをよく知らないことで、健常者と障がい者の間に緊張関係が生じることや、障がい者がサポートを求めたくても声を出しにくいということもあります。周囲の人が障がいをもつ人の声なき声を察することも大切です。

障がい者がもっと住みやすい街づくりを進めていくためには、実際に触れ合い、交流を重ねていくことで障がいに対する理解を深めていく必要があります。

◇たまデフサロン

- 開催日：毎月第3月曜日
- 開催場所：総合福祉センター等

地域活動のご紹介♪

多摩市内の耳の聞こえない方や手話ができる方へ声掛けをし、昨年9月に「たまデフサロン」を立ち上げました。市内の公共施設で月1回開催しており、毎回約15名の方々が参加しています。

サロンでは、手話の歴史・起源や日本と外国の文化・行事、「障害者差別解消法」などについて勉強をしたり、楽しいゲームやおしゃべりを通して交流したりしています。

参加者同士が協力し、役割分担をしながら、これからも健康管理・栄養料理・手話の勉強・福祉制度などの様々な企画をしていきます。



福祉のネットワーク永山とは

多摩市社協ホームページでも活動を見ることができます。
「福祉のネットワーク永山」で検索してください。

☆福祉のネットワーク永山の事業で新たな仲間づくりを！

福祉のネットワーク永山は、永山地区の各団体、住民同士が連携することで様々な地域課題に向き合い、取り組んでいます。皆さまのご参加お待ちしております！

☆福祉のネットワーク永山 今後の予定

- 定例会：奇数月第3土曜日 5月19日(土)
- 瓜生小地区防災組織担当者連絡会：偶数月第3土曜日など
- 永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会：偶数月第3土曜日
- さんぽ会：毎月第1・3水曜日 グルメシティ前10時集合
- まち歩き：毎月第2火曜日 参加希望者は当日集合場所へ
(先行・集合場所は事務局へお問い合わせください)
- 見守りウォーキング：毎月第2・4月曜日 15時30分集合
瓜生地区：グルメシティ前 (永山商店街内)
永山地区：グリナード永山2Fマクドナルド前
- 体操サロン：毎月第2水曜日13時30分～15時30分
東永山複合施設 ボランティア会議室



※まち歩き年会費 500円
(傷害保険代・写真代・資料代に充当)
※お弁当・水筒・タオル・交通費など持参

<ま・ち・か・ど>

鎌倉街道に架かる「瓜生見返り橋」は瓜生公園の南端にあります。永山5丁目から橋を渡って右に折れた角付近の木の根元に椿など花が供えられています。添え文があり、「ありがとう。かわかったよ」と書かれています。

その辺りには以前、野良猫が数匹いて夕暮れになると猫に餌をあげる人を見かけたものです。ところが、いつの間にか猫が減って最後の一匹も消えてしまいました。供花は餌の世話をしていた人が置いたものでしょう。

供養したいという人の心が伝わってきます。

